

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年4月2日

【2018年3月24日～2018年3月30日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、市場のリスク回避姿勢が後退したこともあり、対米ドルおよび対円で上昇しました。また、ブラジル中央銀行の次回COPOM(金融政策委員会)での追加利下げを織り込む形で、2年国債金利は低下しました。

ブラジル中央銀行は29日(現地、以下同様)に四半期インフレ報告書を公表しました。インフレ見通しは前提となる政策金利と為替レートの組み合わせによって4種類の見通しが提示されていますが、そのいずれもが前回(2017年12月)の報告書に比べて下方修正されました。こうした見通しを踏まえて、ブラジル中央銀行は今後しばらくは緩和的な金融政策を継続するものと思われます。

また、国家通貨審議会(CMN)は28日に、銀行の与信活動を促進させるべく、預金準備率を従来の40%から25%へと引下げました。

政治情勢に関しましては、メイレス財務相が大統領選出馬の意志を固め、4月7日までに政権を去る公算が高まりました。世論調査における同氏の支持率は高くないものの、中道派の大統領候補にはアルクミン・サンパウロ州知事やマイア下院議長、テメル大統領などが控えており、中道派の支持票が分裂して極右や極左の候補者が当選する可能性が高まることは、市場にとってのリスク・シナリオとなるため注意が必要です。

【2】今週の見通し

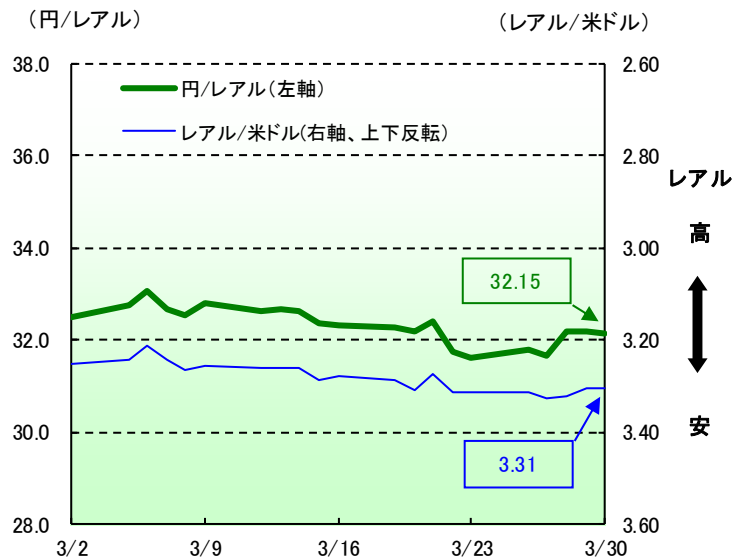
今週は政治情勢に注目が集まると考えています。26日に連邦第四地域裁判所(TRF-4)は、ルラ元大統領の収賄と資金洗浄疑惑に関する有罪判決について、同氏の控訴を棄却しました。この有罪判決によって同氏が収監されるか否かについて、連邦最高裁は4日に決定を下す予定となっています。

また、連邦議会議員などが所属政党を変更できる期間が今週6日までとなっており、大統領選の本格化を控えて議会の勢力図の変化にも関心が集まります。

なお、経済指標につきましては、3日に鉱工業生産の発表が予定されています。

【ブラジル・レアル 為替推移】

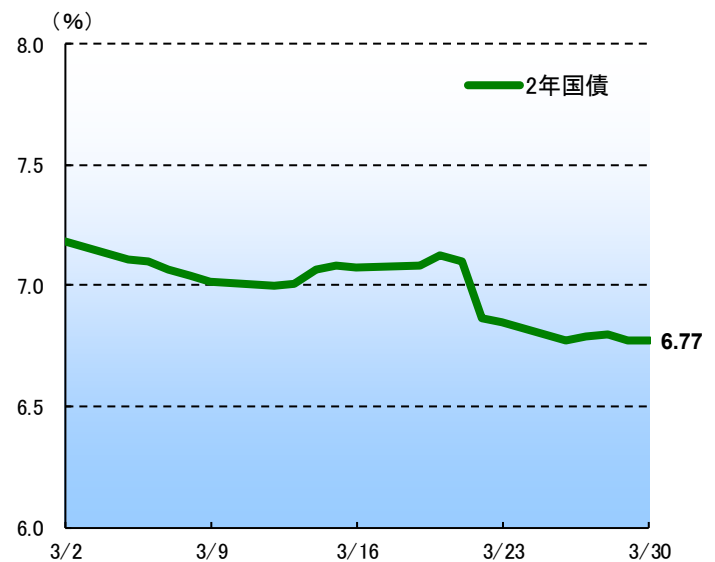
(2018年3月2日～2018年3月30日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年3月2日～2018年3月30日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>